



# ブロックストレージリソースを作成する

## Amazon FSx for NetApp ONTAP

NetApp  
March 02, 2026

# 目次

ブロックストレージリソースを作成する .....	1
NetApp Workload Factory でファイルシステムのイニシエータグループを作成する .....	1
NetApp Workload Factoryでファイルシステム用のブロックデバイスを作成する .....	2

# ブロックストレージリソースを作成する

## NetApp Workload Factory でファイルシステムのイニシエータグループを作成する

NetApp Workload Factoryを使用して、イニシエータグループを作成し、SANブロックデバイスへのホストアクセスを管理します。

### タスクの内容

イニシエータグループ (igroup) は、ブロックデバイス (LUN) を、それらへのアクセスが許可されているコンピューティングリソースに接続します。ボリュームが広範囲にアクセス可能で、ユーザー権限によってアクセスが制御される NFS や CIFS とは異なり、ブロックストレージの権限はマシンレベルで動作します。通常、一度にブロックデバイスにアクセスできるのは1つのシステムだけです。

igroupは、ブロックストレージの権限レイヤーとして機能します。サーバーがストレージシステムに接続すると、iSCSI認定 (IQN) ホストイニシエーターを使用してサーバー自体を識別します。そのIQNが1つ以上のigroupに属している場合、サーバーはそれらのigroupに関連付けられているすべてのLUNにアクセスできるようになります。iSCSIが適切に機能するには、igroupとiSCSIホスト接続の両方が必要です。

### 開始する前に

igroupを作成するには、リンクを関連付ける必要があります。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)。リンクを関連付けたら、この操作に戻ります。

### 手順

1. いずれかを使用してログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
2. ストレージ タイルで、[ストレージへ移動] を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. **FSx for ONTAP\***から、\*ブロック デバイス タブを選択します。
5. リソース タイプ **Create initiator group** を選択し、**Create igroup** を選択します。
6. イニシエーターグループの作成ダイアログで、次の操作を行います：
  - **igroup name**: イニシエーターグループの名前を入力します。
  - **igroup description** : (オプション) イニシエーターグループの説明を入力します。
  - **ストレージ VM 名** : イニシエーターグループのストレージ VM を選択します。
  - **Block device name** : イニシエーターグループに関連付ける1つ以上のブロックデバイスを選択します。リストされているブロックデバイスは、まだホストイニシエーターにマップされていないデバイスです。
  - **オペレーティングシステムの種類** : オペレーティングシステムの種類として、Linux、VMware、または Windows を選択します。
  - **ホストイニシエーター** : 1つ以上のiSCSI認定 (IQN) ホストイニシエーターをイニシエーターグループに追加します。
7. 「\* Create \*」を選択します。

### 関連情報

## NetApp Workload Factoryでファイルシステム用のブロックデバイスを作成する

基幹業務 (LOB) アプリケーション要件をサポートするブロック デバイスを作成します。

### タスクの内容

NetApp Workload Factoryのブロック デバイスでは、FlexVolボリュームのみがサポートされます。iSCSI プロトコルを使用してブロック デバイスを作成できます。

ブロック サイズは、使用可能なFlexVol volumeサイズよりも小さくする必要があります。

### 開始する前に

- ブロック デバイスを作成するには、リンクを関連付ける必要があります。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)。リンクを関連付けたら、この操作に戻ります。

### 手順

1. いずれかを使用してログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
2. ストレージ タイルで、[ストレージへ移動] を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. **FSx for ONTAP\***から、\*ブロック デバイス タブを選択します。
5. \*ブロックデバイスの作成\*を選択します。
6. \*ボリュームの詳細\*で、次の操作を行います。
  - a. ボリューム名: 次のいずれかのオプションを選択します。
    - 新しいボリュームを作成し、ボリュームの名前を入力します。
    - 既存のボリュームを選択します。
  - b. ストレージ **VM**: ストレージ VM を選択します。
  - c. ボリューム スタイル: デフォルトのボリューム スタイルは \*FlexVol\* です。
  - d. ボリューム サイズ: ボリュームのサイズを入力し、単位を選択します。FlexVol volumeあたりの最大サイズは 100 TiB です。
  - e. ボリュームの自動拡張: オプションで、ボリュームの自動拡張を有効にして、ボリュームが容量に達したときにサイズが自動的に増加するようにします。最大拡張サイズは 300 TiB です。
  - f. タグ: オプションで、ブロックデバイスを整理および分類するためにタグを追加します。
7. \*ブロックデバイスの詳細\*で、次の操作を行います。
  - a. ブロックデバイス名: ブロックデバイス名を入力します。
  - b. ブロック デバイス サイズ: ブロック デバイスのサイズを入力し、単位を選択します。ブロック デバイスのサイズは、使用可能なボリューム サイズよりも小さくする必要があります。
8. アクセス で、次の操作を行います。
  - a. **iSCSI** 構成: 次のいずれかのオプションを選択します。

- 新しいイニシエーター グループの作成: ホスト オペレーティング システム、イニシエーター グループ名を指定し、1 つ以上の iSCSI 修飾名 (IQN) ホスト イニシエーターを追加します。
- 既存のイニシエーター グループのマッピング: 既存のイニシエーター グループを選択し、ホスト オペレーティング システムを指定して、1 つ以上の iSCSI 修飾名 (IQN) ホスト イニシエーターを選択します。

9. \*効率と保護\*の下で、次の操作を行います。

a. ストレージ効率: デフォルトで有効になっています。この機能を無効にするには選択します。

ONTAPは、重複排除機能と圧縮機能を活用してストレージ効率を実現します。重複排除機能は重複するデータブロックを排除し、データ圧縮機能はデータブロックを圧縮することで、必要な物理ストレージ容量を削減します。

b. \* Snapshotポリシー\* : Snapshotポリシーを選択して、Snapshotの頻度と保持を指定します。

以下は AWS のデフォルトポリシーです。既存のスナップショットポリシーを表示するには、[xref://リンクの関連付け](#)。

#### default

このポリシーでは、次のスケジュールでSnapshotが自動的に作成され、新しいコピー用のスペースを確保するために最も古いSnapshotコピーが削除されます。

- 最大6つの時間単位のスナップショットが毎時5分に作成されます。
- 最大2つの日次スナップショットが月曜日から土曜日の午前0時10分に作成されます。
- 最大2つの週単位Snapshotが毎週日曜日の午前0時15分に作成されます。



Snapshotの時間はファイルシステムのタイムゾーンに基づいており、デフォルトは協定世界時 (UTC) です。タイムゾーンの変更については、NetAppのサポートドキュメントのを参照してください ["システムのタイムゾーンの表示と設定"](#)。

#### default-1weekly

このポリシーはポリシーと同様に機能し default ですが、週次スケジュールのSnapshotが1つだけ保持されます。

#### none

このポリシーではスナップショットは作成されません。このポリシーをボリュームに割り当てると、自動Snapshotが作成されないようにすることができます。

c. 階層化ポリシー : ボリュームに格納されているデータの階層化ポリシーを選択します。

バランス (自動) は、Workload Factory コンソールを使用してボリュームを作成するときのデフォルトの階層化ポリシーです。ボリューム階層化ポリシーの詳細については、以下を参照してください。 ["ボリュームのストレージ容量"](#) AWS FSx for NetApp ONTAPドキュメント。Workload Factory では、階層化ポリシーに Workload Factory コンソールでユースケース ベースの名前が使用され、括弧内に FSx for ONTAP階層化ポリシー名が含まれていることに注意してください。

d. **ARP/AI**: リンクがファイル システムに関連付けられている場合、NetApp Autonomous Ransomware Protection with AI (ARP/AI) はデフォルトで有効になります。 ["ARP/AIについて詳しくはこちら"](#)です。

続行するには、ステートメントを受け入れます。

機能が利用できない場合は、次のいずれかの理由が考えられます。

- リンクはファイル システムに関連付けられていません。["既存のリンクを関連付ける方法、または新しいリンクを作成して関連付ける方法を学びます"](#)です。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。
- 不変ファイルを含むボリュームと NVMe プロトコルを使用するボリュームは、ARP/AI ではサポートされません。
- ファイル システムには既に ARP/AI ポリシーがあります。

10. 「\* Create \*」を選択します。

関連情報

["FSx for ONTAP ファイルシステムのブロックストレージを管理する"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。